

ふりかえりシートより…今回のワークショップで感じたことをまとめました

あなたが今日気づいたことは？

- ★もっと堅苦しい感じの会だと思っていましたが、なごやかで良かった。
- ★集まった人たちがいろいろな考えを持ち、合併に関心があり、各地域を大切にしていることが分かり非常にうれしく思いました。
- ★各市町村を知ることが新しい市を考えていく上で必要であること
- ★自分の住んでいるまちを知らないことが多く、ましてや相手の市町村のことを知らないことが気がつきました。
- ★テーマを作ることは大変。
- ★会場に入り若い人たちが少ないように感じました。

あなたが今日うれしく思ったこと、満足したことは？

- ★新しい友達ができて良かった
- ★明るい雰囲気の中で話し合いができたので時間もあっという間に過ぎました
- ★今後このメンバーで話し合いをできると思うと楽しみです。
- ★自分の思いが言えること
- ★いろいろな地域の方々のお話が聞けて良かった。今後またお話を聞きたい
- ★それぞれの方々の意見を尊重していること
- ★自分の話に同意してくださったこと
- ★パッチワーク的なまちづくりという意見、一つにまとめるのではなく、個性を出し、遠くから見るといい感じ、良い表現です。
- ★まだ始まったばかりなのでわからない

あなたが今日不満に思ったこと、悲しかったことは？

- ★うまく進行できなかったかも。でも、思いをかなり言ってもらえたのかな(スタッフ)
- ★発表の方法、ポストイットに書かれた意見をもう少し聞きたかった
- ★案内内容と実際の進行に食い違いがあるような事前に情報がないのはいいけれど
- ★今日の話し合いでの資料が少なかった
- ★時間が足りない
- ★行政は市の形、実生活はどうなる、メリットがあるのか不満・不安が
- ★見附市今町に住んで25年、いまだに風合戦と見附祭りと一緒になれないような気がします。このようなことが起こらないように話し合いたい
- ★自分自身、勉強不足で合併したらということの具体的な思いがなかったこと
- ★テーブルに参加したかったです。ファシリテーターでも、参加者でも(スタッフ)
- ★女性のメンバーがいなかった(スタッフ)
- ★サンドイッチが食べられなかったこと

あなたが今日言い残したことは？

- ★頭の中が全くまとまりません。
- ★計画論の心が伝えられたかどうか、次の機会があればさらに伝えたいです。(スタッフ)
- ★ワークショップとはどこまで話し合ったらよいか夢はいっぱいあるのに
- ★先走る考えではなく、足下を見つめることのできるまちづくり
- ★子供達のことをもっとつつこんで話したかった
- ★徹底的にやりましょう
- ★今日、思いついたことは全て言いました。

その他

- ★とっても良いグループになりそうな予感がする。(スタッフ)
- ★会合がふえるのは良いですが、夜時間に市外へはちょっと行けません。
- ★5月は農家にとっては多忙を極めます。自分の都合だけを日程の中に入れていただいで申し訳なく思います。
- ★いつも思うこと、もっと早く会を立ち上げてほしい。すごく楽しい会なので
- ★小さくても具体的な問題を取り上げたい
- ★大きなビジョンは夢に終わるのではないかと心配。達成の仕組みづくりは誰が考えるの？
- ★お疲れさまでした。



ワークショップ終了後も話し合いは続きました

発行・お問い合わせ: 長岡地域任意合併協議会事務局

長岡市幸町2-1-1 長岡市役所内

Tel. 0258-39-2260(代表) 0258-39-2227(直通) Fax. 0258-39-2254

第1回ワークショップ開催しました

日時: 平成15年4月17日 19:00~21:00

場所: 長岡市役所大会議室/43名参加



参加者受付の様子

プログラム

- 19:00 開会・主催者あいさつ・趣旨説明
- 19:10 新市基本構想について提案をお願いしたい内容
- 19:20 ワークショップの進め方
- 19:25 テーブル討議
- 20:15 発表
- 20:45 次回の日程・進め方
- 20:55 ふりかえりシートの記入
- 21:00 閉会

提案してほしい内容
合併したらどういう地域にしたいか。参加者同士が共有できるテーマについて提案する。



当日の流れ
長岡地域任意合併協議会事務局より、あいさつ・趣旨説明と新市基本構想について検討してほしい内容について説明がありました。



・「私に勝ってください」じゃんけんを利用したゲームで気分転換です。



その後、グループごとに話し合いのテーマ、ワークショップの進め方等について話し合いました。

グループごとの話し合い結果の概要

グループ1

- 人と人とのぬくもりを大切に
- 中央に施設が集まりすぎると不便
- 赤ん坊の声を聞きたいお年寄りがいる
- 時の流れはゆったりと

グループ2

- 人の意識改革
- 個性を尊重しつつ一つの大きなまとまりを持つ
- 合併によって小さな村でも30万人に発信することができる

グループ3

- 若い人の参画がない
- 良いものが沢山あるのに生かし切れていない
- 地域の良さを融合できるまち

グループ4

- 独自の地域づくりを探る
- パッチワーク的なまちづくり(独自の色を出しながら全体で調和がとれている)
- 小さなコミュニティをどう育てるかが大事

グループ5

- 地域の自慢話は郷土愛のパロメーター
- 「自慢できるまち」づくりを目指す
- 50年先のまちづくりを目指す

グループ6

- 合併でどうなる?30万都市でどうなる?
- もっと地域の良いところを活かしていこう
- 今後のテーマ「新しい市の中でこういう役割を担っていこう」…8市町村の役割分担

グループ7

- 地域で活動しているメンバーが多かった
- 次回までにまちのアピールを考える
- 「仮想30万都市」をこんな風にしたということを考えてくる

発表風景



長岡地域 まちづくり ワークショップ

かわら版

第1号: 第1回ワークショップ開催しました

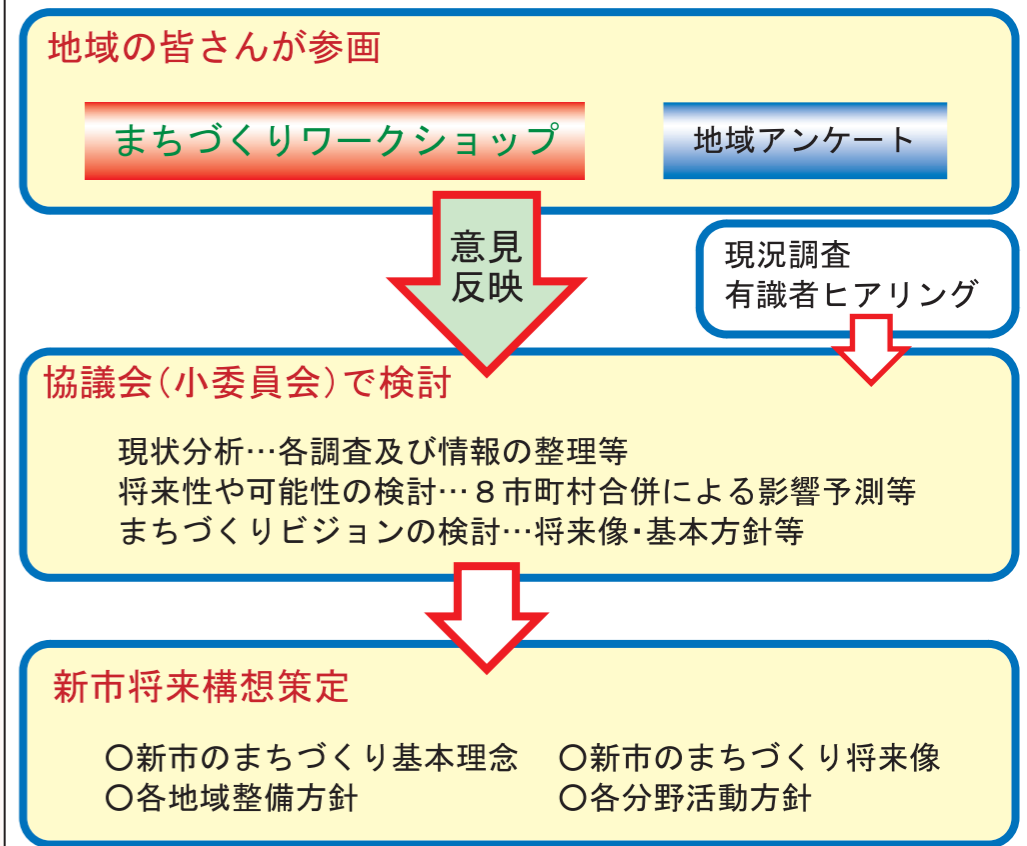
ワークショップのあらまし

平成15年1月に、長岡市・見附市・栃尾市・中之島町・越路町・三島町・山古志村・小国町の8市町村により、「長岡地域任意合併協議会」が発足しました。現在、8市町村の代表が、長岡地域の広域合併に向けて、さまざまな協議を進めています。

その中に、合併した場合の8市町村の目指すべき将来像を「新市将来構想」として定める作業があります。

「新市将来構想」を定めるにあたり、まちづくりの方向性や地域の将来像について地域の皆さんの意見・要望を反映させるために、地域の皆さんの意向を探る「地域アンケート」の他、まちづくりの将来像を地域の皆さん同士で話し合っ、提案してもらおう目的で、「まちづくりワークショップ」を行うことにしました。

新市将来構想策定の流れ



ワークショップの進め方

従来のワークショップは、運営側(事務局)が決めたプログラムやスケジュールに沿って行われていましたが、これだと「時間が足りない」「お膳立てができていて参加者は利用されているだけだ」という不満が必ず出ました。

そこで今回は、話し合いのテーマやワークショップの進め方などを**参加者自身が決めて**進めていくことにしました。

参加者を地域が偏らないように7つのグループに分け、そのグループ単位でワークショップを進めていきます。開催日も全体で集まる日(5月2、13、21日)は決まっていますが、各グループ単独で集まる日を決めてもかまいません。

参加者皆さんが主体となって創り上げていくワークショップです。